### 取扱•組立説明書



### **LIFELEX**

## インテリアチェア

寸 法 幅 465× 奥行 450× 高さ 830(mm)

座面の高さ 460mm

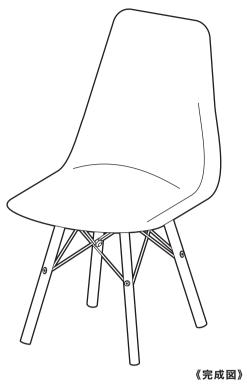
構 造 部 材 ポリプロピレン・天然木・金属(スチール)

表 面 加 工 スチール部:エポキシ樹脂塗装 天然木部:ニス塗装

張 り 材 ポリエステル クッション材 ウレタンフォーム 耐荷重



※耐荷重は測定値であり、保証値ではありません。



※イラストはすべてイメージです。

### 【組み立て前に下記注意事項を必ずお読みください】

このたびは本品をお買い上げいただきましてありがとうございます。ご使用の際は、この取扱説明書をよくお読みの上、正しい使い方で末永くご愛用ください。この説明書は組み立て後も捨てずに、お使いになる方がいつでも見られるところに大切に保管し、下記内容を十分ご理解ください。

### 🗥 使用上のご注意

- ●素材の特性上、開封時に臭いがこもっている場合があります。設置 直後は部屋の換気を行ってください。
- ●本品は屋内用です。
- ●本品はご家庭用です。業務用での使用は避けてください。
- ●本来の用途以外には使用しないでください。
- ●お子様の玩具として使用しないでください。
- ●座面に立ち上がったり、飛び跳ねたり、踏み台としての使用はしないでください。
- ●乱暴な取り扱いはしないでください。
- ●勢いよく座るなど、強い衝撃や偏った荷重はかけないでください。
- ●片方の脚を浮かせて傾けるなどの危険な行為はしないでください。
- ●すべりやすい床面で使用される場合は十分にご注意ください。
- ●移動させる際は、両手でしっかり持って運んでください。
- ●床の種類によっては、キズがつく場合があります。フローリングなどでご使用の場合は、市販のキズ防止シールを設置面に貼ってください。
- ●天災などの不可抗力や、不当な修理・改造による故障・破損に対する補償などはいたしかねます。
- ●商品に異常が見られた場合は、直ちに使用を中止してください。
- ●廃棄の際はお住まいの各自治体の処理方法に従ってください。
- ●製品の仕様は、改良により予告なく変更になる場合があります。

### 組立上のご注意

- ●電動ドライバーは使用しないでください。部材や部品が破損する恐れがあります。
- ●組み立ての際は、ボルト類をゆるく仮締めし、組み立て完成後に仮締めした箇所をしっかりと締めてください。
- ●軍手の着用をおすすめします。手や指をはさむなどのケガにご注意 ください。
- ●床面や商品にキズなどがつかないよう、ご注意ください。 ※布や段ボールなどを敷いて組み立ててください。
- ●ボルトやその他の部品には類似しているものがあります。形状・数量 をご確認の上、組み立ててください。
- 間違った部品を使用しますと商品の破損の原因となったり、組み立てできない恐れがあります。
- ●部品の形状や色などは生産の時期などにより異なる場合があります。

まず、組み立てに必要な工具類が準備されているか、ご確認ください。

# ご準備くださ

# mm -





あて布

### 🔔 設置場所のご注意

- ●ストーブなどの火気の近くや直射日光のあたる場所には設置しないでください。
- ●必ず水平で安定した場所に設置してください。
- ●必ず硬い床面に設置してください。
- ●敷物の使用をおすすめします。

### 組み立てのボルトの締め付けで、下記のマークが記載されている箇所 は必ず「仮締め」で行ってください。



始めから締め付けすぎると 後の組み立てに支障がでる 場合があります。









### 保守・点検のお願い

- ●日常のお手入れは柔らかい乾いた布で軽く拭いてください。
- ●水分、油などが付着した場合は素早く拭き取ってください。
- ●著しい汚れを落とす場合は、薄めた中性洗剤を使用してください。 アルコール・ベンジンなどは使用しないでください。
- ●ボルト類は、その取り付けが確実でぐらつきなどがないかどうか定期 的に点検してください。

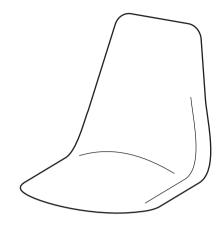
### お願い

- ■製品や梱包材を廃棄する場合は、お住まいの各自治体の取り決めに従ってください。
- ■天災などの不可抗力やお客様の取扱上の不注意、不当な修理や改造による故障、 破損に対する補償はいたしかねます。

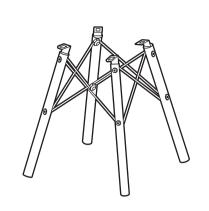
販売元



### 部材・部品







**B**フット部 × 1







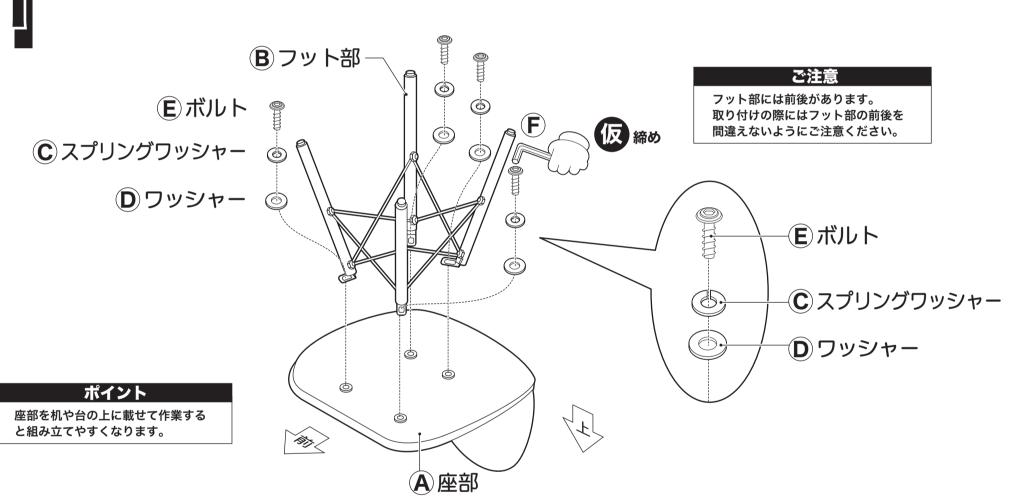
Dワッシャー×4



**F** 六角レンチ × 1

### 組立手順

座部にフット部を取り付けてください。



ボルトをしっかりと締め付け、本体を起こして完成です。